

事務事業名 木次総合センター庁舎管理事業		所属部 木次総合センター	所属課 自治振興課	
総合計画体系	政策名 (VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G 庶務グループ	課長名 菅田和美	
	施策名 (37)時代にあった行政サービスの実現	担当者名 西村 秀一	電話番号 0854-40-1080 (内線) 4264	
	目的:対象 行政機能 意図 効率、公平なサービスを提供する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 1 0 0 3 事業名 項 目 中事業 中事業 0 5 3 0 0 2 事業名	市有施設等管理事業	
	基本事業名 (108)業務と組織機構の見直し 目的:対象 組織・機構、職員 意図 定員管理計画に基づく職員数で、効率よくサービスを提供する。		庁舎管理事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
木次総合センター庁舎等(庁舎、駐車場の維持管理。 ①庁舎及び設備等の管理委託や賃借契約。 ②光熱水費、契約に基づく委託料や賃借料の支払い。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) 庁舎及び設備等の管理委託や賃借契約。委託料、光熱水費等の支払い。	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 24年度と同様。				
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 管理委託契約	件	5	5	5	5
	イ 賃借契約	件	2	2	2	2
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	・木次総合センター庁舎施設 ・雲南市民	ア 施設数	棟	1	1	1	1
		イ 人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
施設を良好な状態で維持する。 来庁者の利便性の向上を図るとともに、快適な職場環境の整備を図る。	ア 庁舎に関する苦情件数	件	0	0	0	0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
需用費(光熱水費等) 2,328千円 委託料(機械警備、エレベーター保守等) 1,167千円 使用料及び賃借料 580千円 合計 4,075千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円				
		千円				
		千円				
		千円	3,940	4,192	4,075	3,920
		千円	3,940	4,192	4,075	3,920
		人	3	3	3	
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	368	235	230	
	人件費計(B)	千円	1,431	926	901	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,371	5,118	4,976	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成15年度に旧木次町において保健センターとして建設、管理を行っていた建物を合併後、木次総合センター、木次健康福祉センターとして使用。	検診や乳幼児の健康診断・予防接種等での来庁者も多く、また、本庁からの会議室利用も増えている状況の中、総合センター独自の行事に使えない場合もあり、外部からの利用についてルール化を図った。	もともと、総合センター(市役所庁舎)を想定して建設していないので、市民からは、市民サービスの窓口が狭隘である、窓口の待合所に冷暖房設備がない、自治振興課が1階と2階に分かれていてわかりにくい、などといった声がある。

事務事業名	木次総合センター庁舎管理事業	所属部	木次総合センター	所属課	自治振興課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設や設備について、まだ大規模な修繕等はないものの、軽微な修繕は今後予想される。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	総合センターの維持管理を休止した場合、事務に支障をきたすとともに、市民サービスの低下にもつながる。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			類似事業としては本庁及び他の5センターの庁舎管理事業が考えられるが、統廃合・連携については本庁と各総合センターとのあり方等を十分に検討する必要がある。																						
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		特に光熱水費が大きいとは思えないが、個々の節電、節水の意識を高めることで、多少なりとも削減はできると思われる。																						
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		庁舎管理にかかる業務については、ほとんど業務委託しており、職員の人件費がかかる業務は最小限であり、削減余地はない。																						
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		行政機関であり、受益者が限定されたり、費用負担を求める事業ではない。																						
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		節電等の意識を高めることで、光熱水費の削減は多少なりとも望めるものの、今後の施設修繕費は増加が懸念されるため、今後も、良好な状態を維持する管理に努める。																						
3 今後の方向性【PLAN】																										
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持	●		×																						
	低下		×	×																						
総合センターの業務縮小になれば、おのずと管理経費も縮減すると思われるが、それに伴って行政サービスの低下にならないよう、縮小業務の見直し改善が必要。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								